

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

http://oki-kyo.jp

発行責任者 仲程正哲

当院のできごと2012

- 2月 緊急患者空輸に対して表彰されました
- 4月 病院理念の改訂
- 6月 HCU(ハイケアユニット)開設
第2回地域連携懇話会
- 8月 新しい分娩台が入る
- 9月 県民大会に救護班として参加
- 10月 沖縄医療生協40周年記念
第7回健康まつりに参加



緊急患者空輸表彰(2月)



HCU開設(6月)



第2回地域連携懇話会(6月)



新分娩台導入(8月)



県民大会(9月)



健康まつり(10月)

新師長の紹介

New Chief nurses



副総看護師長
金城 悦子

組合員の皆さん、こんにちは。11月12日に副総看護師長の辞令を受けました金城 悦子(きんじょうえつこ)と申します。諸先輩方の助言と仲間の助けを得て責任を果たしていけるように頑張ります。皆さまの力添えを頂きながら協同病院の看護集団が輝き、安全・安心の看護が提供できるようにしていければと考えております。



ICU 師長
新里 康

この度、慣れ親しんだ病棟を離れ、ICUへ異動することになりました、新里 康(しんざとやすし)です。今まで私を支えてくれた仲間の皆様ありがとうございました。そして、これから仲間になるICUの皆様、よろしくお祈りいたします。



5階師長
大城 浩

今度、12月1日付で沖協5階病棟の師長になった大城 浩(おおしろひろし)です。5階病棟では主任として1年4カ月勤めてきましたが、一般外科・脳外科との混合病棟で毎日患者様の出入りが激しい部署です。師長として未熟な為、色々迷惑を掛けると思いますが、明るく笑顔を絶やさない様に一生懸命頑張りますのでご指導の程、宜しくお祈りいたします。

病院の活動状況 <10月度>

- ・外来一日平均患者数：676人(前年同月比-32人)
- ・入院一日平均患者数：261人(前年同月比0人)
- ・組合員利用率：52.6%(前月比+0.4%)

更年期障害について②

産婦人科



更年期障害の
治療について

前回は、更年期障害の原因、症状について述べました。治療については、少なくとも

たホルモンを補うことにより症状の改善や緩和を図ろうというHRT(ホルモン補充療法)と漢方治療が中心となります。ホットフラッシュ、発汗、不眠などにはホルモン補充療法の効果が望めます。

HRTではエストロゲン(卵胞ホルモン)とプロゲステロン(黄体ホルモン)の二種類を併用するのが一般的ですが、一人一人の状況に合わせて投与法が変わります。

最近ではさまざまなホルモン製剤が発売され、内服薬、貼り薬、塗り薬、錠剤があります。現在または既往の乳がん、子宮内膜がん、重度の肝機能障害、原因不明の不正性器出血、血が固まりやすい状態(血栓塞栓症や急性期の血栓性静脈炎、冠動脈疾患や脳卒中の既往)の場合は、ホルモン補充療法はできません。また、HRTを五年以上続けると乳がんのリスクが増加します。薬の副作用がでないか確認するため、半年〜一年に回は血液検査、子宮がん検診、乳がん検診が必要です。HRT中止後も五年間は毎年子宮がん、乳がん検診が勧められます。

HRTができない患者様や長期間不定愁訴が持続、多彩な症状がある患者様については漢方治療を選択します。処方の際には症状、体格、顔色、舌や腹部、脈を診て、処方を決めます。漢方治療のメリットとしては、処方が多い点が多く、愁訴が改善し、副作用が少ない点があげられます。ただ、処方によっては香りや酸味、苦みが強く服用できない人もいます。薬物療法以外にも、カウンセリングなどの心理療法、運動療法、食生活などライフスタイルの改善も必要になります。

どんな治療法がベストかは、相談して決定していきます。女性のパートナードクターとしての産婦人科、どうぞ気軽に受診してください。

産婦人科 嘉陽真美

